

合気道

守央書



Vol. 26

全日本合気道連盟広報 JAPAN AIKIDO FEDERATION (JAF)

◆発行日：令和4年7月7日(木)

◆発行：全日本合気道連盟

〒162-0056

東京都新宿区若松町17番18号

(公財)合気会内

TEL 03-6457-3315

◆発行人：尾崎 响

◆編集責任者：林 典夫



2P 全日本合気道連盟 理事会・定時評議員会

3P 新役員紹介

4P 新評議員紹介

5P (公財)日本武道館主催「鏡開き式・武道始め」

6P 合気神社例大祭

7P 第59回 全日本合気道演武大会

8P 連盟活動報告 広島県合気道連盟・大阪府合気道連盟

9P 連盟活動報告 埼玉県合気道連盟・東京都合気道連盟

10P 連盟活動報告 合気道兵庫県連盟

「第59回 全日本合気道演武大会」DVD完成発売

11P 最新刊「合気道その歴史と技法」発売

全日本合気道連盟(JAF) 理事会・定時評議員会

令和三年度理事会(決算)・令和四年度第一回理事会(予算等)・定時評議員会は五月二十七日に日本教育会館にて行われた。

十三時半から行われた理事会では尾崎响理事長が議長となり、令和三年度の事業報告および会計報告、監査報告が行われ、承認可決された。その後、役員改選後の新しい役員が出席した第一回理事会が行われた。令和四年度事業計画、および同年度予算案が審議され、承認可決された。

十五時半から植芝守央現道主、ならびに植芝充央本部道場長をお迎えして定時評議員会が行われた。会に先立ち、道主より「この二年半コロナ感染症の影響で、それぞれの皆様方の道場の活動が制約を受けたことだと思えます。皆様はそれを乗り越えて前へ向かってしっかりと進んでおられるということを常々聞いております。これからも前向きに活動していただき、自分たちが研鑽すると同時に開祖が作られた合気道を少しでも多くの方々に伝えていただければと思います。合気会の中の各道場の融和を図るという目的でこの全日本合気道連盟(JAF)が発足し、今日に至っております。ぜひこの心をご理解の上、お互いを尊重するという気持ちをご大切にしながら、合気道の輪をさらに大きくしていっていただきたいと思います」とご挨拶があった。続いて尾崎理事長が議長となり、令和三年度事業報告と会計報告、更に令和四年度事業計画と予算計画が各担当常任理事より報告された。質疑応答の後、すべての事業について評議員会の承認を得た。

今年度の選挙では当選された再任者に加え、岡本洋子氏が新たに理事に、飯島悦男氏が新たに監事にそれぞれ就任した。また顧問の磯山博氏は任期満了に伴い、勇退された。令和四年度からの新役員が以下のように決定した。

【新役員】

理事長

尾崎 响

常任理事

林 典夫

宮本 鶴蔵

小林 幸光

理事

菅沼 守人

中村 克也

嶋本 勝行

窪田 育弘

堀井 悦二

船越 光雄

白川 勝敏

藤城清次郎

石原 克博

五十嵐和男

澤田 俊晴

岡本 洋子

監事

冷水 照夫

飯島 悦男

(敬称略・順不同)



ご挨拶

全日本合気道連盟

理事長

尾崎

响 しょう

理事長に選任いただきました尾崎响でございます。五期目になります。微力ではありますが、植芝守央道主、(公財)合気会のご指導を仰ぎながら、合気道の発展のためにまた、全日本合気道の組織の強化のために粉骨碎身、努力する所存であります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

この三年間、コロナで活動が制限されましたが皆様の御協力をいただき、全日本合気道連盟は機関誌の発行をはじめ、組織の活性化に取り組んで参りました。

本年は役員の改選が行われました。代議員から評議員を選出し、十二名の理事が決定しました。(公財)合気会推薦理事四名を加え、理事長、常任理事が選任されました。監事二名も決定し、新しい執行部が誕生しました。それぞれが合気道に対する熱き情熱と、優れた指導力を持つて各地で活躍されている方々です。力を併せて全日本合気道連盟の運営に取り組んで行く所存であります。

皆様ご存知のように合気道は、開祖植芝盛平翁が幾多の武道の奥義を極め、そ

の上に厳しい精神的な修行を収められて創始された現代武道であります。現在、世界百四十の国と地域に大きな輪を広めています。合気道がこれまで世界に普及、発展したのは植芝盛平翁の「技と哲理」が世界に認められ、心の武道として浸透したからであります。そして現在、国内では一四〇〇を数える登録道場、団体が活躍しています。私共は開祖植芝盛平翁、植芝吉祥丸二代道主、植芝守央現道主の御心を鏡として修行し、正しい合気道を後世に伝えて行かなければなりません。その意味において今回の役員改選は大きな意義をもつものであります。

今秋には全日本合気道連盟の加盟団体名簿第五版の改訂版を発行する予定で作業に入っています。

また、対応しなければならない案件は山積されています。皆様の御指導、御協力をいただき、積極的に取り組んで参りたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新 役 員 紹 介



理事長
尾崎 响
(公財)合気会

全国投票の結果を受けて、新しい役員が顔を揃えました。執行部は文字通り実働部隊です。合気道発展のために努力してまいります。



常任理事
林 典夫
(公財)合気会

開祖盛平翁、吉祥丸二代道主から守央現道主に継承され世界規模で公汎化している合気道の正しい普及ならびに連盟の活動に微力を尽くしてまいります。



常任理事
宮本 鶴蔵
(公財)合気会

競技のない、できない合気道の普及、振興の一助になればと思っております。



常任理事
小林 幸光
(公財)合気会

常任理事の名に恥じぬよう、合気会と全日本合気道連盟の橋渡し役を勤めたいと思います。



理事
菅沼 守人
福岡県
合気道連盟

少しでも連盟の充実と発展のためお手伝いできればと思っております。



理事
嶋本 勝行
大阪府
合気道連盟

この度、全日本合気道連盟理事を拝命し、その役割の重さを厳粛に受け止めて、職務遂行に努力する所存です。ご指導ご加担の程よろしくお願い申し上げます。



理事
船越 光雄
山形県
合気道連盟

コロナ禍で厳しい状況下ですが、合気道の普及と振興のため、全日本合気道連盟の更なる融和と友好に努めてまいります。



理事
窪田 育弘
奈良県
合気道連盟

合気道普及発展の為、(公財)合気会を支え、道友及び各連盟間の融和を図り、全日本合気道連盟の立場からお役に立ちたいと思います。



理事
中村 克也
山口県
合気道連盟

傘下各道場とも稽古再開が非常に厳しい中、コロナ第六波収束が懸念されています。発生以前の状態に早く立ち返るよう、前向きに活動を活性化していきたいと考えます。連盟共々協力し大きく前進しましょう。



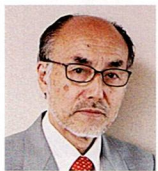
理事
堀井 悦二
合気道
兵庫県連盟

合気会・全日本合気道連盟発展のために微力ながら貢献したいと思っております。



理事
白川 勝敏
宮城県
合気道連盟

コロナ禍で合気道の活動が世界的に滞りました。理事の皆様と力を合わせ、道友および連盟の融和を図りながら、今後とも合気道の普及発展にいかにかすれば貢献できるかを真剣に考えて、活動を続けていきたいと思っております。



理事
藤城 清次郎
東京都
合気道連盟

理事を拝命し四期目を務めさせていただきます。加盟団体の皆様とのパイプ役としてお役に立てよう微力ながら、精進したいと思っております。皆様のご指導よろしくお願い申し上げます。



理事
石原 克博
静岡県
合気道連盟

全日本と県連の関係を更に充実させる事が理事の使命だと考えます。又その事が斯道発展にも繋がると信じ微力ながら尽くして行きたいと思っております。



理事
五十嵐 和男
神奈川県
合気道連盟

神奈川県合気道連盟の層の充実を図るとともに、全日本合気道連盟の発展と、今後とも国内外の合気道の普及に微力ながら努めてまいります。



理事
澤田 俊晴
愛知県
合気道連盟

理事として再選させていただきますました。全日本合気道連盟の一員として、愛知県を中心に合気道の普及発展をお手伝いさせていただきます。



理事
岡本 洋子
京都府
合気道連盟

次世代、次世紀の合気道の未来を思い描きながら、稽古交流を通して、今為されるべきことに少しでもお役に立つことができよう、精進いたします。



監事
冷水 照夫
和歌山県
合気道連盟

この度監事を仰せつかりました冷水照夫です。和歌山県は開祖生誕の地です。この地をお守りしながら、全日本合気道連盟の更なる発展のため、貢献してまいりたいと切に思っております。



監事
飯島 悦男
茨城県
合気道連盟

監事として再登板です。その間は、茨城団体開催に向けて専念してまいりました。当県は、開祖修行の地です。この地の合気神社をお守りし、合気道の普及発展に尽力してまいります。

評 議 員 紹 介



牛木陽二
栃木県
合気道連盟



忍山 東
福島県
合気道連盟



松田健一
秋田県
合気道連盟



日高 浩
岩手県
合気道連盟



田辺孝美
青森県
合気道連盟



兼平民洋
北海道
合気道連盟



若尾重廣
山梨県
合気道連盟



武田 聡
神奈川県
合気道連盟



木下悦子
東京都
合気道連盟



高橋嗣慶
千葉県
合気道連盟



川路昌治
埼玉県
合気道連盟



小沼俊彦
群馬県
合気道連盟



田中英生
岐阜県
合気道連盟



八木貞人
福井県
合気道連盟



中川紳一郎
石川県
合気道連盟



久保 毅
富山県
合気道連盟



五十嵐光一
新潟県
合気道連盟



中島久典
長野県
合気道連盟



渡邊祐司
広島県
合気道連盟



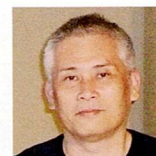
石井勇一
岡山県
合気道連盟



田村典行
島根県
合気道連盟



朝倉 一
鳥取県
合気道連盟



清水正男
滋賀県
合気道連盟



畠原正典
三重県
合気道連盟



武藤勝則
長崎県
合気道連盟



杠 好秋
佐賀県
合気道連盟



松村俊典
高知県
合気道連盟



松田正司
愛媛県
合気道連盟



西原 浩
香川県
合気道連盟



工藤泰助
徳島県
合気道連盟



山口 大
沖縄県
合気道連盟



山口和文
鹿児島県
合気道連盟



園田 誠
宮崎県
合気道連盟



渡辺和郎
大分県
合気道連盟



高本和宜
熊本県
合気道連盟

全日本合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財)合気会内

(公財)日本武道館主催

「鏡開き式・武道始め」

(公財)日本武道館主催の「令和四年鏡開き式・武道始め」は一月十日(成人の日)、東京・九段下の日本武道館で行われた。

開会式の後、武道九団体と(公財)日本武道館で組織されている日本武道協議会による令和三年度武道功労者並びに武道優良団体の表彰式が行われた。これは長

年に亘り全国又は地域・職域において武道の普及・振興に寄与した個人と団体を対象にするもので、合気道では武道功労者として尾崎响全日本合気道連盟理事長、武道優良団体として京都府合気道連盟が表彰された。

続いて、古式に則った鎧着初めと鏡開きが行われた後、各道による模範演武が弓道、柔道、銃剣道、合気道、なぎなた、相撲、少林寺拳法、空手道、剣道の順で披露され、武道始め(各道稽古会)が行われた。

武道功労章

受賞に寄せて

この度、合気道道主植芝守央先生の御推挙を賜り、日本武道協議会から武道功労章を拝受致しました。身に余る光栄であります。心から感謝申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

昭和三十六年、駒澤大学に入学しました。黒い袴と流れるような技に魅せられて合気道部に入部しました。大澤喜三郎先生、駒澤大学仏教学部教授鈴木格禅老師に御指導

をいただきました。

大学二年の時、大澤先生から全日本合気道演武大会の司会を担当するように仰せつかりました。以来、今日まで六十年間、演武大会の総合司会を通じて開祖植芝盛平翁先生、二代道主植芝吉祥丸先生、植芝守央道主先生にお仕え出来ました事は、私の人生の大きな誇りであります。

大学卒業後、東京三鷹市新川に春清寺合気道場を開設。その後、住まいの大田区に大田区合気道連盟を発足させ、地域における青少年育成を目的として合気道の指導を続けて参りました。また、就職先がテレビ制作の現場であった事から、多くの俳優さんにも合気道を指導する機会に恵まれました。

平成十八年、東京都合気道連盟理事長に就任し、加盟団体拡充に奔走しました。そして現在、全日本合気道連盟理事長を務めております。全日本合気道連盟の発展は延いては(公財)合気会の発展に繋がります。それだけに責任は重大です。合気道歴六十年の記念の年に、栄えある武道功労章をいただきました。御指導くださいました皆々様に心からの誠を捧げますと同時に、生ある限り合気道発展の為に微力を尽くす覚悟でございます。ありがとうございます。

(全日本合気道連盟理事長 尾崎响)

武道における横のつながり、
しなやかに輝ける緯糸のように

この度、日本武道館「鏡開き式・武道始め」式典において、合気会のご推薦により、

日本武道協議会から「武道優良団体」という栄誉ある賞をお授け頂きました。

私たち京都府合気道連盟二十三団体の合気道家一人一人は、開祖、二代道主、現道主、合気道本部道場という縦軸の要にある合気道の基本の教えを守り、同時に道友である連盟の仲間と稽古交流をしながら、信頼し合うことのできる関係を築いていけるよう努力しながら十年の月日を歩んできました。

そして今からは、この栄誉を実際に社会に還元していかなければなりません。また、武道家においては、一人一人が主導的に行動することを求められると同時に、相手を敬い、弱者を労わりながら調和社会への実現に向けて献身するという大切な役目を担っていると思います。それには、社会のルール規律を大切に守りながら、柔軟性を持って難局に対応していかなばなりません。

各道場のそれぞれの師、先輩の縦軸の繋がりを敬い、開祖に繋がるその経糸の束をより強靱にしていけるよう稽古に励みます。同時に、道友である連盟の緯糸の仲間と交流を深め、しなやかで美しい社会を形成していけるよう、常に感謝の気持ちを持って合気の道に精進して参りたいと思います。

このような機会をお授け頂いたことに、心より御礼申し上げます。

(京都府合気道連盟理事長 岡本洋子)



植芝道主を中心に尾崎全日本連盟理事長(左)、植芝充央本部道場長、岡本京都府連理事長(右)

合気神社例大祭

「合気神社大祭」と「開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭」は四月二十九日午前十一時より、茨城県笠間市(旧岩間町)の合気神社で執り行われた。当日は新型コロナウイルスの対策を配慮しつつ五百名を越す参拝者が集まった。



奉納演武をする植芝道主

合気神社大祭は修祓に始まり、大祭祝詞、植芝家を始め各界代表の玉串奉奠が行われ、参拝者全員で神言を奏上し、開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭に移った。

慰霊祭は祖霊、開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭祝詞の後、植芝家・二代道主所縁の参拝者、参拝者代表による玉串奉呈が行われた後、天津祝詞が奏上された。

続いて、植芝守央道主が「一言御礼のご挨拶をさせていただきます。三年ぶりに合気神社大祭並びに合気道開祖植芝盛平翁・吉祥丸二代道主の慰霊祭をこうして皆様方にお越しいただきまして開催できますことを大変嬉しく思っております。また今日こうして皆様方ご多様の中雲行きが怪しい中お集まりいただきましたことに感謝申し上げます」と存じます。開祖は五十三年前昭和四十四年四月二十六日に亡くなられ、吉祥丸二代道主は平成十一年一月四日に亡くなられ二十三年の歳月が経っております。五十三年前の登録道場はま



植芝本部道場長の奉納演武

だ百に達してないと思います。

また、海外の普及度も二十カ国前後とあります。現在世界国内外百四十の国と地域、国内は二千四百箇所の登録道場まで広がっております。これは開祖の創始した合気道の素晴らしさゆえでございますが、素晴らしい合気道を吉祥丸二代道主をはじめとする先達の方々が心血を注いで普及振興されてきている、そして現在の私達につないでくださっているからだと思っています。私たちは開祖の創られた合気道の精神を理解し、日々の稽古を大切にしっかりと修業し、そして社会が少しでも良くなる、世界が平和になることを努めながら歩んでいかなければならないと思っております。本日はありがとうございます」と挨拶。こ

の後、植芝充央本部道場長、植芝道主による奉納演武が行われ、午後十二時祭典を終了した。

大祭玉串奉奠者(敬称略)

▽斎主▽加藤道明▽植芝家▽植芝守央、植芝恭子、植芝充央、植芝慶子、植芝絃央、植芝智史▽(公財)合気会常務理事▽林典夫▽(公財)合気会顧問▽保坂三蔵▽茨城支部道場相談役▽磯山博▽衆議院議員▽上月良佑▽笠間市副市長▽近藤慶▽笠間市議会議長▽石松俊雄▽田辺市副市長▽木村晃和▽田辺市教育委員会教育長▽佐武正章▽田辺市議会副議長▽尾花功▽茨城県議会議員(茨城県合気道連盟会長)▽常井洋治▽本部道場指導部代表▽入江嘉信▽茨城支部道場指導部代表▽稲垣繁實▽参拝者代表▽全日本合気道連盟理事長・尾崎响

慰霊祭玉串奉呈者(敬称略)

▽斎主▽加藤道明▽植芝家▽植芝守央、植芝恭子、植芝充央、植芝慶子、植芝絃央、植芝智史▽(公財)合気会理事・赤沼三己男、可児晋、稲井孝之▽開祖・吉祥丸二代道主ゆかりの参拝者▽小林保雄小林道場総師範、後藤英伸(公財)合気会評議員、佐藤勝彦(公財)合気会評議員、▽参拝者代表▽五味田聖二植芝盛平翁顕彰会理事長

第59回全日本合気道演武大会

第五十九回全日本合気道演武大会（主催（公財）合気会、後援スポーツ庁、東京都、



（公財）日本武道館、NHK、日刊スポーツ新聞社、協力全日本合気道連盟）は、五月二十八日正午より、日本武道館で開催された。

新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年同様感染症対策として、入館時の検温、入館証（演武者、大会関係者のみに配布された）の提示、一週間分の健康観察票の提出など、感染症対策を行いつながらの無観客での開催となった。参加者は関係者並びに演武者総勢四千名となった。

国歌静聴の後、可児晋（公財）合気会理事から「本日参加の皆様におかれましては和合の精神を発揮し、合気道の素晴らしさを存分にご披露くださいますようお願いをいたしまして開会の辞とさせていただきます」と開会の辞が述べられた。

続いて主催者挨拶として、大会会長の植芝守央合気道道主より「第五十九回全日本合気道演武大会がここ日本武道館で三年ぶりに開催されますことを大変嬉しく思っております。今年も昨年と同様規模を縮小し、無観客という形でおこなわれますが、本大会は公益財団法人合気会あげての最大の行事であり、全国の登録道場、社会人団体、学生団体が日頃の稽古の成果を発揮する大切な場です。新型コロナウイルス感染症が未だ収まらぬ中、皆様が今

できることを精一杯行うという気持ちで日々、合気道に思いを寄せていただいていることが本大会の開催にむすびついていると思っております。こうして演武大会を通じて全国の合気道修行者の皆様と共に喜び合えることを感謝いたしております。

本日演武される皆様方は感謝の心を持ち、残念ながら本日出場の叶わなかった方々の思いを胸に、一期一会の気持ちを大切に演武に臨んで頂きたいと思っています。

この大会を機に、より一層合気道を精進し、開祖植芝盛平翁の唱えた和合の心が満ちるよう、心を一つに前へと進んで参りましょう。最後に本大会を開催するにあたりご後援を賜りましたスポーツ庁はじめ関係諸団体に厚く御礼を申し上げます」と述べられた。

また、来賓として参議院議員・元国務大臣（公財）日本武道館常任理事 山谷えり子（公財）合気会理事、山田美樹衆議院議員、朝日健太郎参議院議員が挨拶された。

来賓紹介、祝電披露の後、演武に移った。大会は演武直前までマスク着用し、演武



主催者挨拶を述べる植芝道主

の途中には畳の消毒も行われた。演武は、師範、登録道場、地域連盟、学生連盟、中・高等学校、文化センター、社会人団体、本部道場一般、防衛省連合会、合気道学校が出場し、熱気もありながらも粛々と行われた。

一部の最後を植芝充央合気道本部道場長の演武で締めくくられた。休憩を挟んで二部が開催され、大会の最後は植芝守央道主の総合演武で締めくくられ、立ち技、座り技、半身半立ち技、太刀取り、杖取り、多人数掛けが披露された。

最後に林典夫（公財）合気会常務理事より「このコロナの影響がもうしばらく続くかも知れませんが、どうぞ皆様におかれましてはご健勝でいただき、来年また、この日本武道館で元気に、元気にお会いしましょう」と閉会の辞が述べられた。

本大会は昨年に引き続きコロナ禍での開催となったが、三年ぶりに日本武道館での開催、人数制限のある中でも団体演武も三年ぶりに行われ演武者は気持ちが入っていた。演武の後にも緊張からの解放からか皆笑顔になっており、これも合気道の良さの一つであろう。各地域での講習会や演武会も開催することがままならなく、互いに会うことすらできない時期が続く、久しぶりの道友との再会を喜ぶ姿も多く見受けられ、これからつながるであろうことを予感させる大会となった。

尚、今大会の演武の様子は合気会よりネット配信された。

広島県
連盟

秋季特別講習会

令和三年広島県合気道秋季特別講習会を、十月二十三日(土)、二十四日(日)の両日、広島県立総合体育館武道場(広島市中区)にて開催。講師に栗林孝典本部道場指導部師範を招き、二十四団体三大学から延べ百十名が参加しました。

緊急事態宣言の解除と集対策期間も終了となったが、感染拡大の防止と関係者全員の安全を確保するため、参加者には一回以上のワクチン接種、もしくは参加日から一週間以内のPCR検査の陰性証明などの条件を定め実施した。当日は受付での検温・ワクチン接種証明又はPCR陰性証明の確認・参加者の記録、稽古中においてはマスク常時着用・相手が交代する都度のアルコール消毒・適宜の休憩・稽古模様の写真及びビデオでの記録など感染予防対策を徹底し行った。



広島県合気道秋季特別講習会

両日を通して準備運動、運足、講義、基本技は単独動作と相対稽古が順に行われ、二十三日は逆半身片手取りや正面打ち等から基本技を、二十四日は横面打ちや後ろ両手取り等からの基本技を中心に指導いただきました。講義ではコロナ禍における稽古の在り方について、「本部道場の感染防止対策の紹介」「これまでの様な稽古が難しくても、単独動作などをして行い、基本を見直す良い機会、しつこくは技の上達に繋がる」「稽古ができなくても、例えば合気道技法他、本を読んで学べることもたくさんあり、探求できる機会である」今だからこそ、視点を変えて稽古に励んでいけると指導いただきました。

参加者はコロナ禍のニューノーマルとして変化を恐れず合気道の本質と伝統は守りつつ、時勢に合わせて新たな常識と行動を意識し、更に前へ進める良い機会となった。

(広島県合気道連盟 事務局)

大阪府
連盟

大阪府連盟講習会

第十一回大阪府合気道連盟講習会は令和三年十月三十一日、吹田市立武道館「洗心館」にて開催されました。講習会に先立ち、須磨弘副理事長より「各地の合気道道場ではこの約二年弱の間、また現在もコロナの影響で稽古を自粛又は活動を縮小されているかと思えます。このような状況下で府連盟としてどのような事ができるのか考えました。そして少しでも加盟団体の皆様と交流を図り、また将来に向けて希望の光となるようにとの想いから講習会と演武会を開催する事に致しました。三密にならないように各自が気を引き締



め、そして合気道を楽しんで頂ける有意義な会となりますようご協力の程お願い申し上げます」との主催者挨拶の後、新規加盟団体の紹介と続きました。

今回の講習会開催は、無観客、マスク着用、健康管理申告と当日の検温、手指・足裏や畳の消毒など徹底したコロナ感染拡大予防策を実施しました。また、今回参加できなかった道場の皆様にもご覧頂けるようYouTube配信しました。

緊急事態宣言解除後一か月で十三団体約百四十名の参加がありました。講習会は大阪府合気道連盟理事長の木村二郎先生にご指導いただきました。体の転換の説明の後、片手取り呼吸法、交差取り入身投げ、正面打ち一教等の基本技を中心に、それぞれが教えていただいた捌きや崩しの理合いを確認しながら、改めて稽古ができる喜びをかみしめました。

演武会では、第五十八回全日本合気道演武大会で大阪府を代表して指導者演武を行った合気道心架塾の町田真道先生のお披露目に始まり、役員演武、各団体の代表者演武の後、木村理事長の演武で締めくくられました。最後に辻本大治理事より閉会の辞が述べられ、ました。今後、みんなで協力して前に進んでいくという加盟団体の思いが一つになった一日となりました。

(大阪府合気道連盟事務局 國増秀樹)

埼玉県
連盟

地域社会合気道指導者研修会

令和三年度埼玉県上尾市地域社会合気道指導者研修会が、弓道、少林寺拳法と、また、令和三年度埼玉県上尾市地方青少年練成大会(空手道)と合同で、十一月十三日、十四日、埼玉県立武道館(上尾市)にて行われました。本部道場から藤巻宏本部指導部師範と里館潤同部指導員が中央講師として派遣されました。また、地方講師として、三輪明師範(埼玉県合気道連盟副会長)と石垣晴夫師範(埼玉県合気道連盟常任理事)が担当。埼玉県内十八団体の五十七名が参加しました。

初日には、開会式が行われ、三輪副会長兼地元講師が県連代表として開会挨拶。また、派遣講師代表として、藤巻中央講師師範から「挨拶を頂きました」。

十三日午前二時間は三輪師範より、氣の流れを意識した呼吸法、足さばきなどの



基本動作を中心としたご指導をして頂きました。午後は藤巻師範による講習が行われました。相手との関係性という課題に対し、異なる位置や間合いにおける変化、また、単独動作と相対稽古の組み合わせにより分かりやすく丁寧なご指導をして頂きました。

十四日、午前二時間は石垣師範に指導をして頂きました。

午後三時間は藤巻師範により、昨日に引き続き、相手との関係性に対し、上段、中段、下段による変化、体格の違う相手との変化を中心に「指導して頂きました」。特に藤巻師範の講習では、開祖の技の丁寧な解説もして頂きました。閉会式では、日本武道館振興部篠寄浩之副参事兼普及課長から「挨拶を頂き、また、合気道愛和会武道館教室林豊氏が代表となり参加者全員に錬成証が授与されました」。

その後、藤巻宏派遣講師から研修会のご講習を頂きました。県連盟代表者として埼玉県合気道連盟石垣晴夫常任理事によるお礼の言葉を述べ、二日間の研修会を終了しました。本大会の開催は、コロナ禍の中ではありましたが、感染予防対策の徹底を図り、参加者全員で協力していただき、道場内や参加者の定期的な消毒の実施。約十時間にわたる講習会を無事に終了することができました。本講習会を通じて、埼玉県合気道連盟の繋がりがさらに深まりました。

(合気道と光道場 加藤幹也)

東京都
連盟

地域社会合気道指導者研修会

令和三年度東京都(足立区)地域社会合気道指導者研修会は令和四年三月五日、六日の二日間東京武道館で行われた。本部道場からは横田愛明本部道場指導部師範、藤田すみれ同部指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を藤城清次郎東京都合気道連盟理事長と大田勤同連盟副理事長が務めた。感染症対



策として参加人数が制限され、三十四団体から六十三名が参加した。

五日は講習会に先立ち開会式が行われ、主催者側から村上修史東京武道館館長、主管団体から藤城理事長、講師を代表して横田師範がそれぞれ挨拶を行った。

開会式の後、午前中は横田師範による稽古が行われ、午後は地元講師の藤城、大田両師範による「第九回全国合気道指導者研修会の報告と怪我の初期対応について」、「合気道指導の手引き」に基づいた合気道指導の一考察」の講義が行われた。

六日は午前午後と横田師範による指導が行われた。横田師範は基本技から変化・応用技への展開について指導した。稽古の最後に横田師範に質疑応答の時間が設けられ、参加者数名が日頃の疑問点に関する質問を行い、横田師範より様々なアドバイスを受けた。

研修会中は、複数回にわたる道場全面的アルコール消毒清掃、手指消毒、マスク着用による稽古など、感染症対策が徹底された。講習会終了後は閉会式が行われ、村上修史東京武道館館長より参加者代表に修了証が授与された。最後に横田師範から講評がなされ、二日間の研修会は無事終了した。

兵庫県
連盟

地域社会合気道指導者研修会

令和4年度 兵庫県（姫路市）地域社会



令和4年度兵庫県（姫路市）地域社会合気道指導者研修会は六月十一日、十二日の二日間兵庫県立武道館で行われた。

本部道場からは入江嘉信本部道場指導師範、藤田すみれ同部指導員、有馬隼人同部指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を藤田隆充合気道兵庫県連盟理事長と衣笠基樹宝塚合

気道すみれクラブ指導員が務めた。参加人数は、県内連盟加盟団体から十七団体百六十七名であった。

十一日は講習会に先立ち開会式が行われ、主催者側から船田彦兵衛兵庫県立武道館館長、主管団体から中尾眞吾合気道兵庫県連盟会長、講師を代表して入江師範がそれぞれ挨拶を行った。

開会式の後、午前中は入江師範による稽古が行われ、午後は理学療法士、一般社団法人働く人の健康と安全を守る会の代表理事である高野賢二郎氏による「合気道家のための障害予防教室」の講義、続いて藤田師範による稽古が行われた。

十二日は午前に衣笠指導員による稽古、午後に入江師範による稽古が行われた。入江師範は体捌きに重点を置いて武器取りを指導した。

研修会中は、定期的な手指消毒、マスク着用による稽古、そして稽古相手と同じ道場の会員に限定するなど、感染症対策が徹底された。

講習会終了後は閉会式が行われ、船田兵庫県立武道館館長より参加者代表に修了証が授与された。最後に入江師範から講評がなされ、二日間の研修会は無事終了した。

第59回
全日本合気道演武大会
THE 59TH ALL JAPAN AIKIDO EMBUKAI

日本武道館
令和4年5月28日(土) 午前11時開場 正午開会

主催 公益財団法人 合気会 後援 スターツ 東京部 公益財団法人 日本武道館 NHK 日刊スポーツ新聞社 協力 全日本合気道連盟

第59回
全日本合気道演武大会

8月15日 発売!!

令和4年5月28日(土)に開催された「第59回全日本合気道演武大会」のDVDが完成しました。

■ 本編 180分

■ 価格 4,500円 (税・送料込)

★内 容：植芝守央道主の総合演武
師範・指導者演武 ほか

★申込み方法：

名前、住所、電話番号、所属団体を明記の上、下記まで直接ご注文下さい。DVDと一緒に請求書が送付されます。金額をお振込み下さい。

制作販売：国際企画センター

〒143-0024 東京都大田区中央 5-18-1

FAX 03-3755-1258

E-mail: ozakisho1818@gmail.com

第59回全日本合気道演武大会 DVD 完成発売

最新刊

2022年
3月下旬刊行

合気道道主

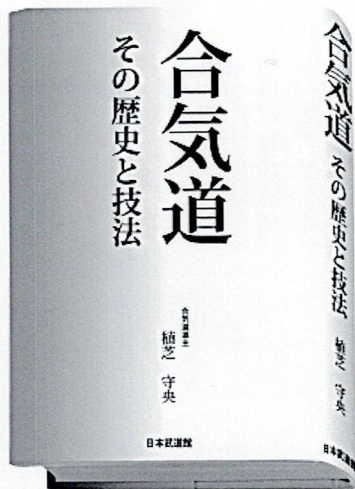
植芝守央 著

合気道
その歴史と技法

四六判・上製・362頁・定価2640円

世界140の国と地域、国内2400の道場・団体で愛好される合気道。

開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。

二代道主
植芝吉祥丸

開祖・植芝盛平

合気道道主
植芝守央

植芝 守央（うえしば もりてる）

昭和26年（1951）4月2日、東京生まれ。合気道道主（平成11年（1999）に道統を継承）。父は二代道主植芝吉祥丸。祖父は開祖植芝盛平。

明治学院大学経済学部を卒業後、財団法人合気会に奉職。合気会専務理事、合気道本部道場長を歴任。現在、公益財団法人合気会理事長、国際合気道連盟会長、公益財団法人日本武道館理事、国際武道大学評議員などの要職を務める。平成25年（2013）に藍綬褒章を受章。ブラジル国のアンシエッタ勲章、ロシア大統領友好勲章、スペイン・バレンシア大学金メダルを授与される。主な著書に『合気道 稽古と心』（内外出版社）、『改訂新版規範合気道基本編』（出版芸術社）などがある。

●公益財団法人合気会

<http://www.aikikai.or.jp>

目次

- 合気道開祖誕生
- 若き日の苦悩
- 生涯をかける道を模索する日々
- 転機
- 武田惣角氏・出口王仁三郎氏との出会い
- 極限状態からの悟り
- 東京進出
- 皇武館道場と財団法人皇武会
- 合気道を死守せよ
- 開かれた合気道へ
- 普及・振興に奔走
- 海外への普及、そして大きな転換期
- 道統の継承、さらなる発展へ
- 世界的な評価の高まり、吉祥丸二代道主の逝去
- 新しい世紀を迎えて
- 新たな門出
- コロナ禍を乗り越え、さらに歩み続ける
- 稽古法と理念
- 技の骨子
- 基本の体捌きと呼吸力
- 技の種類と呼称
- 各種技法
- 投げ技
- 投げ固め技
- 固め技
- 武器取り
- 多人数取り
- 段・級位規定／推薦資格基準

編集・発行 公益財団法人 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3

ホームページ <https://www.nipponbudokan.or.jp>お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課までどうぞ！

TEL03(3216)5147

FAX03(3216)5158



東海堂 SHOP 難波店
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 3-8-22
新川清水ビル2F
TEL: 06-6633-3277 FAX: 06-6633-3278

横浜営業所
〒231-0028 神奈川県横浜市中区鶴町 2-8-6
第二東里ビル214号室
TEL: 045-305-6923 FAX: 045-345-5589

※ 大会等の催事出店の為、臨時休業となる場合があります。

東海堂 <https://www.tokaido.tokyo>
   絶賛更新中!